

〔古語拾遺〕於是從思兼神議令石凝姥神鑄日像之鏡初度所鑄少不合意是紀伊國次度所鑄其狀美麗是伊勢太神也

〔百練抄安徳〕壽永二年八月廿一日武士亂入大原野打開神殿取御體鏡四枚并神寶等稻荷社奉取御正體辨之

〔惠慶法師集〕稻荷の中社の歌

いなり山三つ杉中にます鏡我ことだて、頼むかひあれ

〔續日本紀文武〕慶雲元年十一月庚寅遣從五位上忌部宿禰子首供幣帛鳳凰鏡窠子錦子伊勢太神宮

〔延喜式四伊勢大神宮〕太神宮裝束

鏡二面 各徑九寸

〔內宮長曆送官符〕出座料御裝束

御鏡貳面 徑各九寸、付組紐

〔皇大神宮儀式帳〕荒祭宮正殿裝束

鏡一面 徑三寸、納緋囊

〔內宮長曆送官符〕荒祭宮料

鏡一面 徑二寸、納緋袋

〔皇大神宮儀式帳〕月讀宮遷奉裝束

鏡九面 徑各二寸、西一殿二面、西二殿四面、東一殿三面

〔內宮長曆送官符〕月夜見宮正殿肆宇

御裝束拾參種